

助成事業実施報告書

団体名 柴西囃子連
代表者・役職名 氏名 小川 力

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

囃子連 半纏リニューアル 踊り用衣装 面購入

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

柴西囃子連は伝統芸能の習得そして地域の子供たちとの交流健全育成を目的に平成十七年九月に柴西会有志の尊い寄付によって発足。
発足地元諏訪囃子連の親方を師匠に招き練習を始める。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

現代社会において伝統芸能の伝承は少子化の影響やデジタルの進化に伴い、アナログでの継承が難しくなっていると思います。
今の子供たちに継承することの大切さや大変さを感じてほしい。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

子供たちが、地域の行事や祭りに参加することは、伝統芸能、神事の継承を通して、学校等では経験出来ない多くの人との出会いがあります。多様な人たちとの出会いや世代間の交流が人間関係やコミュニケーション能力を育てるいい機会に健全育成には欠かせないと考えます。地域で育むお祭りや伝統芸能は子供たちを育み、大切な事々を授ける、心の教育に繋がると思います。そしてお囃子は神事でもあり皆さんに笑い笑顔も届けます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

半纏リニューアルによって他団体とデザインの差別化が図れメンバーにとっても新たな団結力が生まれております。面や衣装については子供たちの評判も良くお囃子に関心をもってくれる子らもでてきました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

当プロジェクトを通して、子供たちに衣装や面など新しい物の良さ、古いものの大切さを理解し、道具を大切にする心。伝統芸能を通して一人一人が地域に根差し郷土を愛し郷土を自慢出来る子供になって欲しいと考えています。第一小学校が創立 150 周年を迎えるにあたり古き柴崎を自慢出来る町にしていきたいと思ひます。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。 参考資料あり・特になし





